

石川県能登中部保健福祉センター 環境行動計画

平成21年12月25日

取 組 方 針

石川県能登中部保健福祉センターは、機構改革により平成12年4月より保健所業務と福祉業務、並びに児童相談所業務が統合された機関です。

生活環境の衛生指導、地域住民の健康増進を図ることを業務としている当センターでは、環境保全全般について、職員一人ひとりが強い意識を持って取り組むことは大変重要なことであると考えます。また、公的機関として、民間企業や県民に対して率先して、模範となるよう行動する使命を背負っているものと認識しております。

このため、私たちは当センターの活動が環境負荷へ及ぼす影響を少なくするため、以下の行動に取り組みます。

- ① 事業活動の中で省エネルギー化、省資源化（紙の節約）を進め、二酸化炭素の排出量を抑制します。
- ② 事務用品の購入にあたっては、積極的にグリーン製品を採用します。
- ③ 資源（用紙）のリサイクルを進め、有効利用を図ります。

この方針に基づいて、職員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全職員に周知します。

平成21年12月25日

石川県能登中部保健福祉センター
所 長 柴田 裕行

3 環境負荷の低減目標

環境負荷の低減目標は平成20年度実績を基準にして毎年、前年度の1%を削減していくことを目標とします。

(1) 二酸化炭素排出量

環境負荷		単位	平成20年実績	平成21年目標	平成22年目標	平成23年目標
二酸化炭素排出量	電力	Kg-CO ₂	52,056	51,535	51,020	50,510
	灯油	Kg-CO ₂	36,292	35,929	35,570	35,214
	LPG	Kg-CO ₂	473	468	464	459
	ガソリン	Kg-CO ₂	20,261	20,058	19,858	19,659
	軽油	Kg-CO ₂	0	0	0	0
	合計	Kg-CO ₂	109,082	107,991	106,911	105,842

(2) 廃棄物排出量

廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	2,580	2,554	2,529	2,503
	産業廃棄物	kg	0	0	0	0
	特別管理産業廃棄物	kg	204	202	200	198
	合計	kg	2,784	2,756	2,729	2,701

(3) 水、コピー用紙

水の使用量	m ³	1,216	1,204	1,192	1,180
コピー用紙の使用量	kg	1,585.5	1,569.6	1,553.9	1,538.4

4 環境負荷低減への具体的な取組

(1) 二酸化炭素排出量の削減

NO	取 組 内 容	評価	責任者
(事務・管理部門での取組)			
1	事務室の空調温度を適正（冷房時28℃、暖房時19℃）に設定する		管理課長
2	空調を必要な区域、時間に限定する。		管理課長
3	インバーターにより空調の省電力化を推進する。		管理課長
4	インバーター照明の導入により、照明器具の省エネ化を図る。		管理課長
5	OA機器の節電機能を活用する。		管理課長
6	クールビズ、ウォームビズに取り組む。		管理課長
7	ノー残業デーを設ける。		事務次長
8	昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する		管理課長
9	詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する		管理課長
10	製品をできるだけ長時間使用する		管理課長
(輸送・移動の取組)			
1	公用車の効率的な使用（運転経路、相乗り）を徹底する		管理課長
2	アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける		管理課長
3	車の空調温度を適正温度に設定する		管理課長
(紙使用量削減の取組)			
1	両面コピー、裏紙使用の徹底		管理課長
2	会議用書類を最小限にする。		管理課長
3	電子情報機器の利用により、ペーパーレス化を進める。		管理課長
4	書類の作成ミス、コピーミスをなくす		管理課長
(一般廃棄物の取組)			
1	ごみの分別回収を徹底		管理課長
(グリーン購入の推進の取組)			
1	コピー用紙、印刷物は再生紙を使用する。		管理課長
2	文具類などはエコマーク製品、グリーンマーク製品を購入する。		管理課長

5 環境行動計画の実施体制

所長を委員長とする環境活動委員会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックし、次年度以降の行動計画にどう反映させるか組織的に検討します。